

「しずく」の作製

1 はじめに

シンキング クランクとして完成したものを「しずく」と名付けました。しずくを量産するに当たって気づいたことをまとめました。

2 おもり

鉛球6mmと鉄球6mmではフックをつけても浮いてくることが分かったので、改めて調整しました。その結果、鉛球6mmと鉄球5mm2個で調整できました。

鉛球6mmと鉄球5mm2個では浮いています。これに、スプリットリング #00、スプリットリング #0、フック #6、スナップ #000をつけると沈みます。

これであっても時々浮いてくるブランクがあります。このブランクは廃棄することにしました。

ゆっくり沈ませるために、重さを調整することはとても難しいと感じました。

3 ブランクの作製

ブランクの粘土の量(ブランクの体積)は微妙です。多すぎると、フック等を付けても浮いています。右側の型、左側の型、それぞれに粘土を詰めて合体させると、多すぎた粘土が‘バリ’となります。バリをとっては合体させることを繰り返すと、バリがだんだん減っていきます。

バリを取り除き合体させることを3回繰り返すことにしました。

4 ブランクの整形と乾燥

ブランクができたら形を整えます。特に、左右のつなぎ目に凸ができるので、これを取り除きます。粘土が水で柔らかくなることを利用します。ブランクを30分以上乾燥させたら、指に水を付けて凸になっているところが、平らになるまでこすります。

着色のための下地づくりまでに、2日以上は乾燥させます。ブランクの作製から3日目に下地づくりです。

5 着色のための下地づくり

アクリルスプレー(透明)がホームセンターに安く(¥200で)売っていたので、これを活用しました。

スプレーをたくさん吹くと液が垂れてしまうことから、吹き付ける量を少なくして、吹きつけ・乾燥の回数を多くすることにしました。スプレーは20cmくらい離して吹き付ければ良いことが確認できています。(30cmも離す必要はないということです。)

スプレーを20cmくらい離して、ブランクの右型から2往復する。左型からも2往復する。乾燥させるつるし方を上下反対にして、同様に吹き付ける。以上を1セットとして、3セット行う。吹き付けた後は1時間程度乾燥させる。最後の吹きつけが終わったら、6時間以上乾燥させる。

6 着色後のアクリルスプレー

着色後、アクリルスプレー(透明)の吹きつけは、「下地づくり」と同様に行う。

7 おわりに

とりあえず30個の量産を考えています。現在、30個分の下地づくりまで進めています。それ以降に記載すべき事項があれば、追加していこうと考えています。